令和2年7月豪雨 から３年
復興への歩み

一日も早い復興を目指して
～九州地方整備局における活動の記録～







国土交通省 九州地方整備局

令和2年7月豪雨から３年 復興への歩み

目次

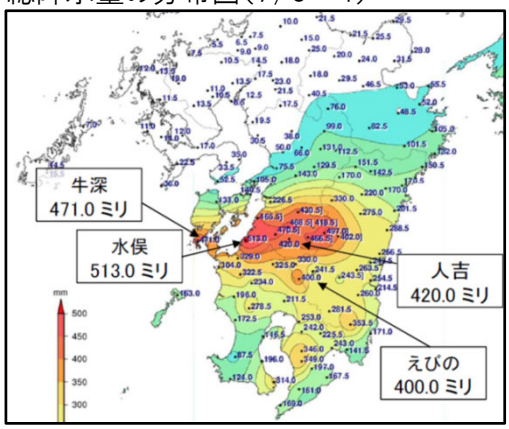
◆13観測所で観測史上最高水位・・・・・・・・・・ 1
◆濁水が街を襲う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
◆球磨川 堤防決壊 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
◆24時間体制で復旧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
◆球磨川で13橋が流失・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
◆失われた日常生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
◆豪雨により道路寸断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
◆TEC-FORCE 被災地に集結・・・・・・・・・・・・・・・ 8
◆地域に寄り添う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
◆最前線に緊急車両到着・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
◆建設業者による懸命な復旧作業・・・・・・・・・・ 11
◆大量の流木撤去・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
◆より早く より広く 伝える・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
◆災害復旧工事を国が代行・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
◆復旧・復興を加速 復興事務所開所・・・・・・・ 15
◆橋梁の本格復旧に着手・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
◆仮橋による早期復旧・そして完成へ・・・・・・・・ 17
◆道路復旧で生活再建を支援・・・・・・・・・・・・・・ 18
◆大雨に備え河道内掘削・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

13観測所で 観測史上最高水位

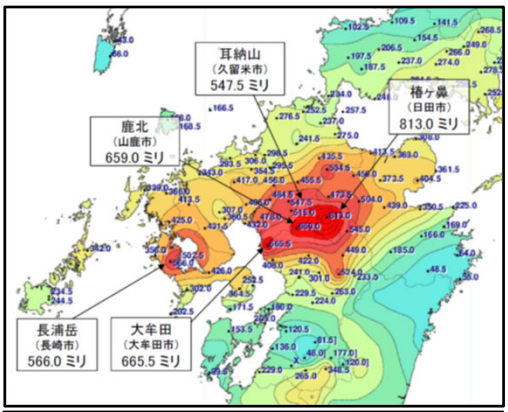
令和2年7月に梅雨前線が九州付近に停滞し、広い範囲で記録的大雨

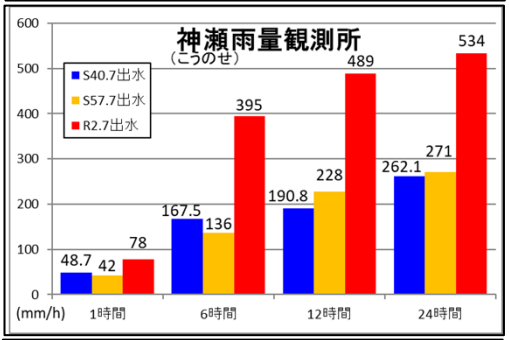
・梅雨前線が九州付近に停滞し、7月3日～4日は熊本県と鹿児島県で、6日～8日には九州北部の広い範囲で記録的大雨となり、九州10水系において氾濫危険水位を超える洪水が発生し、13観測所で観測史上最高水位を記録。球磨川流域では複数の雨量観測所において、観測史上最多雨量を観測した。

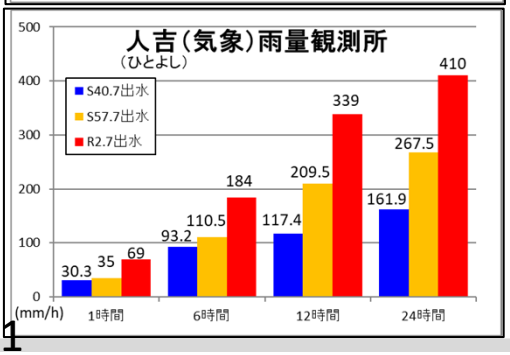
総降水量の分布図(7/3～4)

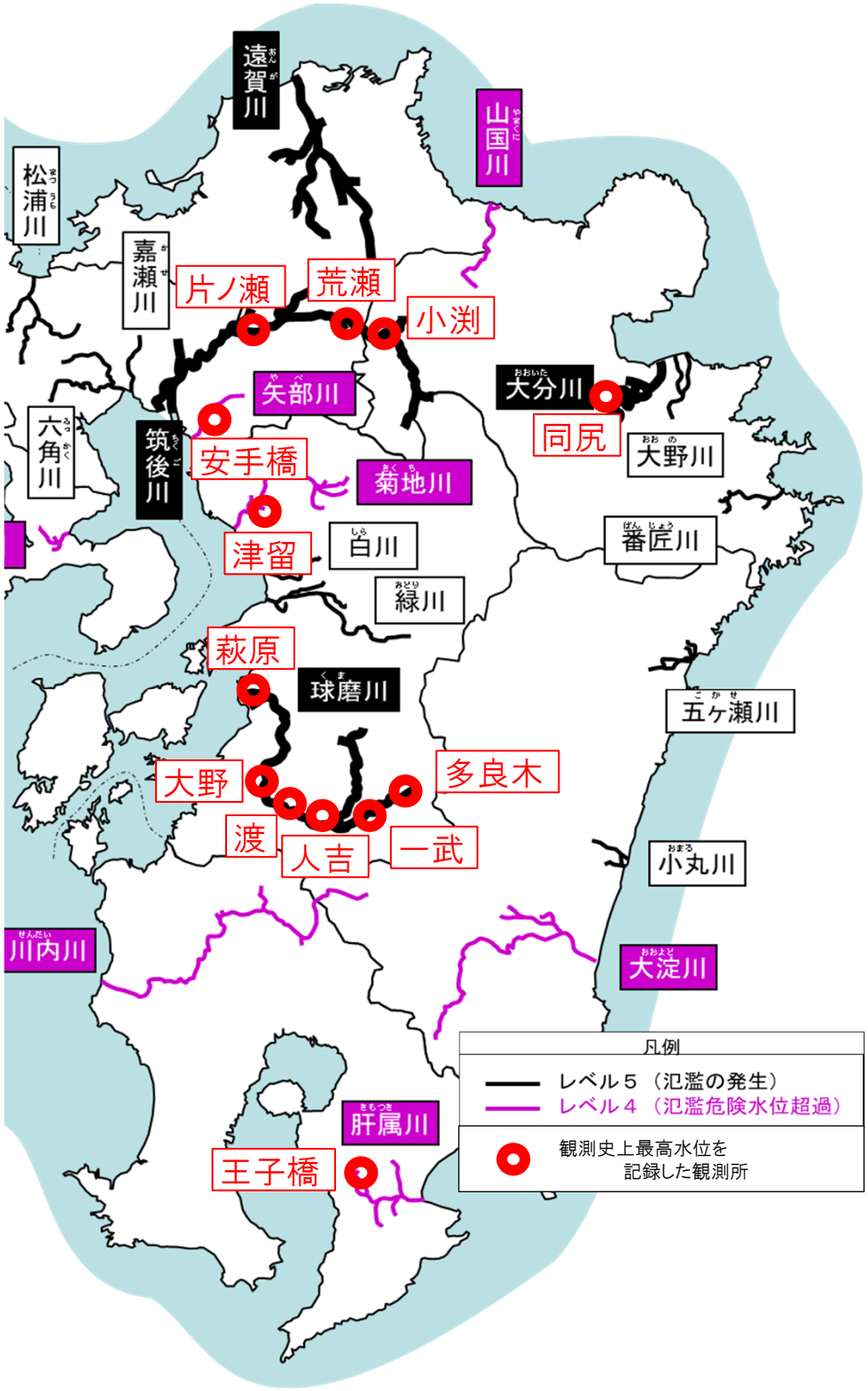


総降水量の分布図(7/6～8)









濁水が街を襲う



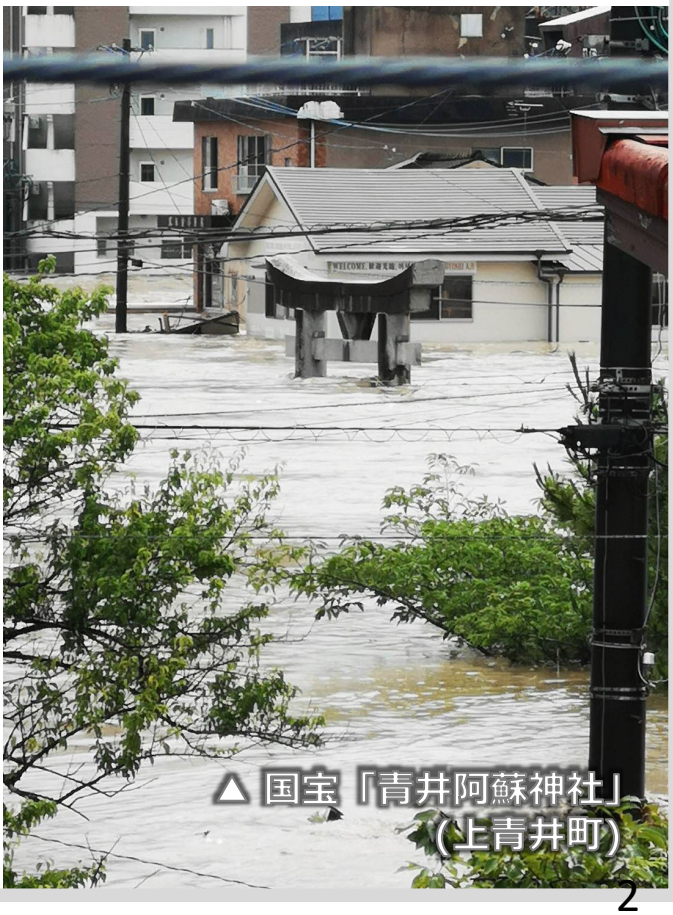
▼ 人吉市街部(紺屋町)

人吉市の中心市街地が浸水し、国宝「青井阿蘇神社」も浸水被害

・球磨川沿川では大規模な浸水が発生し、球磨川本川で面積約1,020ha*、戸数約6,110戸*
球磨川の支川川辺川においても、約130ha*・約170戸*（柳瀬橋上流）など甚大な浸水被害が発生した。特に熊本県人吉市では中心市街地が浸水し、約4,700戸*もの家屋被害が発生。
国宝「青井阿蘇神社」も浸水するなどの被害となった。　（*速報値）

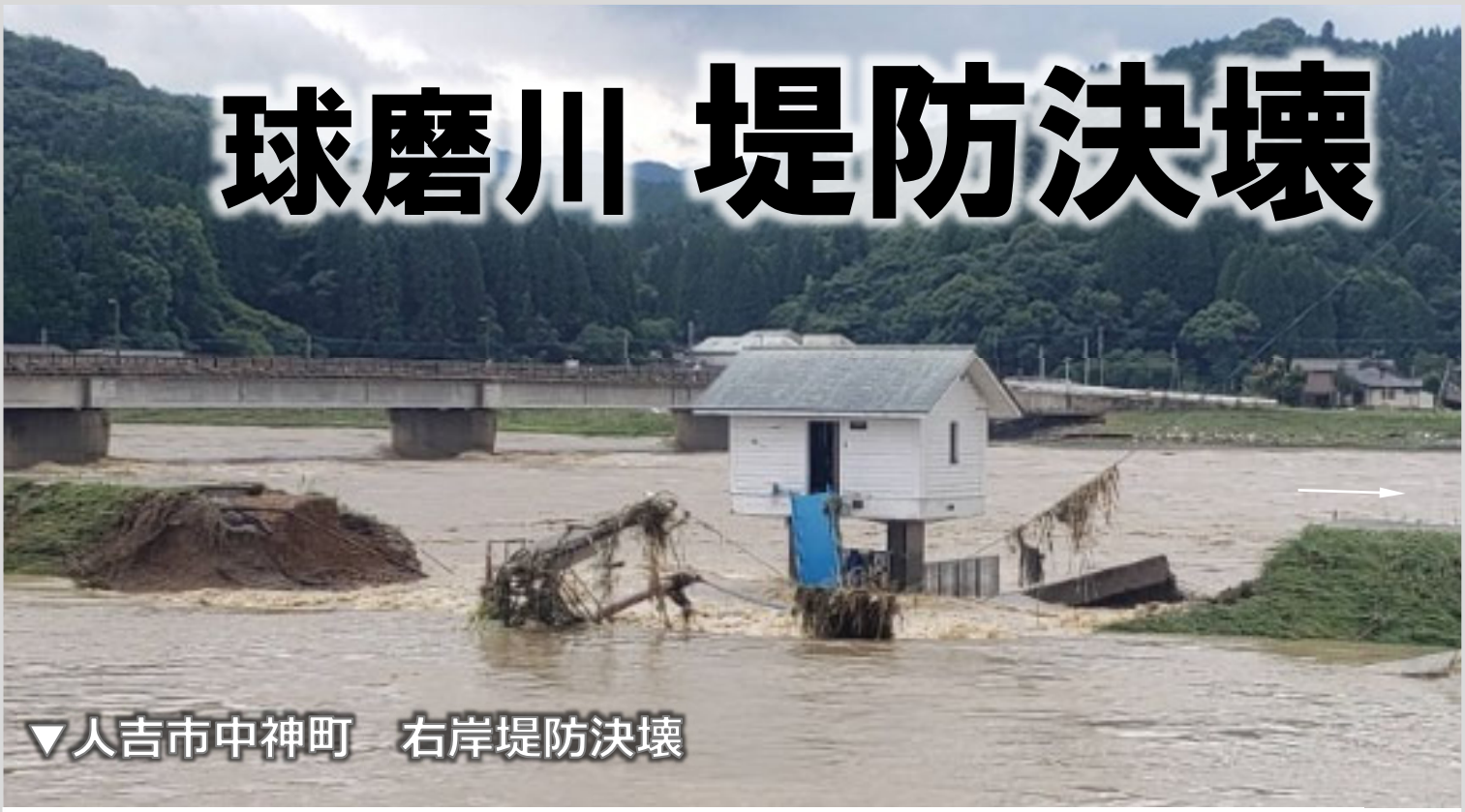


▼ 人吉市街部(紺屋町)



△ 国宝「青井阿蘇神社」
(上青井町)

球磨川 堤防決壊

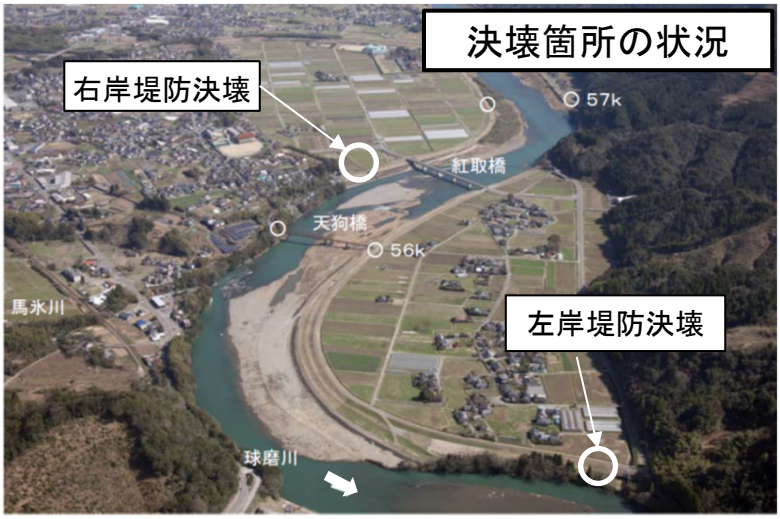


▼人吉市中神町　右岸堤防決壊

球磨川本川で2箇所の堤防決壊が発生

・7月4日球磨川本川（人吉市中神地先）において、右岸の堤防が約30mにわたり決壊。
また、さらに対岸下流の左岸堤防でも約10mにわたり決壊。









▼人吉市中神町　左岸堤防決壊

24時間体制で復旧



▲人吉市中神町　右岸堤防決壊緊急復旧

2日間昼夜をとおした緊急復旧工事で完了

・球磨川本川（人吉市中神地先）の堤防決壊（2箇所）において、24時間体制の緊急復旧工事で対応し、右岸決壊箇所は7月4日23時着手し、7月6日24時に緊急復旧が完了。左岸決壊箇所についても7月8日18時に緊急復旧工事に着手し、24時間施工で7月9日9時30分に緊急復旧が完了した。



▼右岸堤防決壊状況

7月４日（土）１６時頃



7月６日（月）９時頃



▲現地施工状況



▼緊急復旧完了

7月７日（火）０時頃

球磨川で１３橋が流失



西瀬橋流失（熊本県人吉市）

広範囲かつ大規模な道路被害が発生し、交通が途絶

・球磨川の氾濫によって道路被害が各地で発生。特に八代市から人吉市間の国道219号などの球磨川を渡河する橋梁が10橋流失するなど、被害は広範囲に及んだ。また、鉄道橋3橋（JR肥薩2橋、くまがわ鉄道1橋）が流失するなど甚大な被害となった。



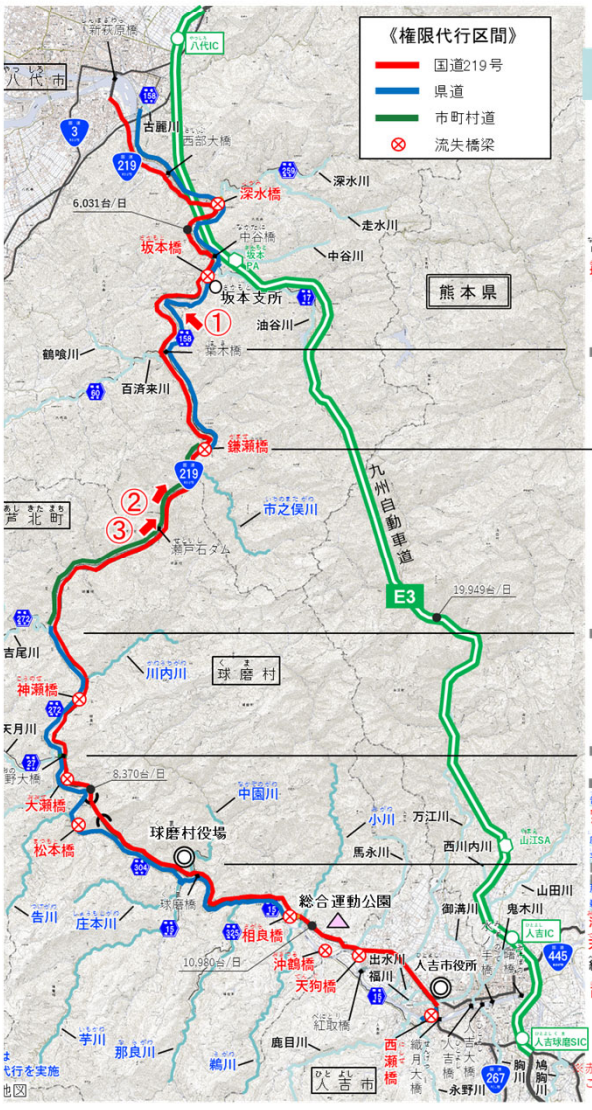
鎌瀬橋



深水橋



相良橋



失われた日常生活



▲大牟田市の浸水被害状況

全国各地から駆けつけた排水ポンプ車が排水作業

・7月6日からの九州北部を中心とした大雨により、各地で河川の氾濫や浸水、土砂災害等が発生した。浸水被害が発生した福岡県大牟田市などでは、全国各地から集結した排水ポンプ車が排水作業を実施した。



▲ 中国地方整備局による排水作業



▲ 排水作業準備



▲ 現地排水状況



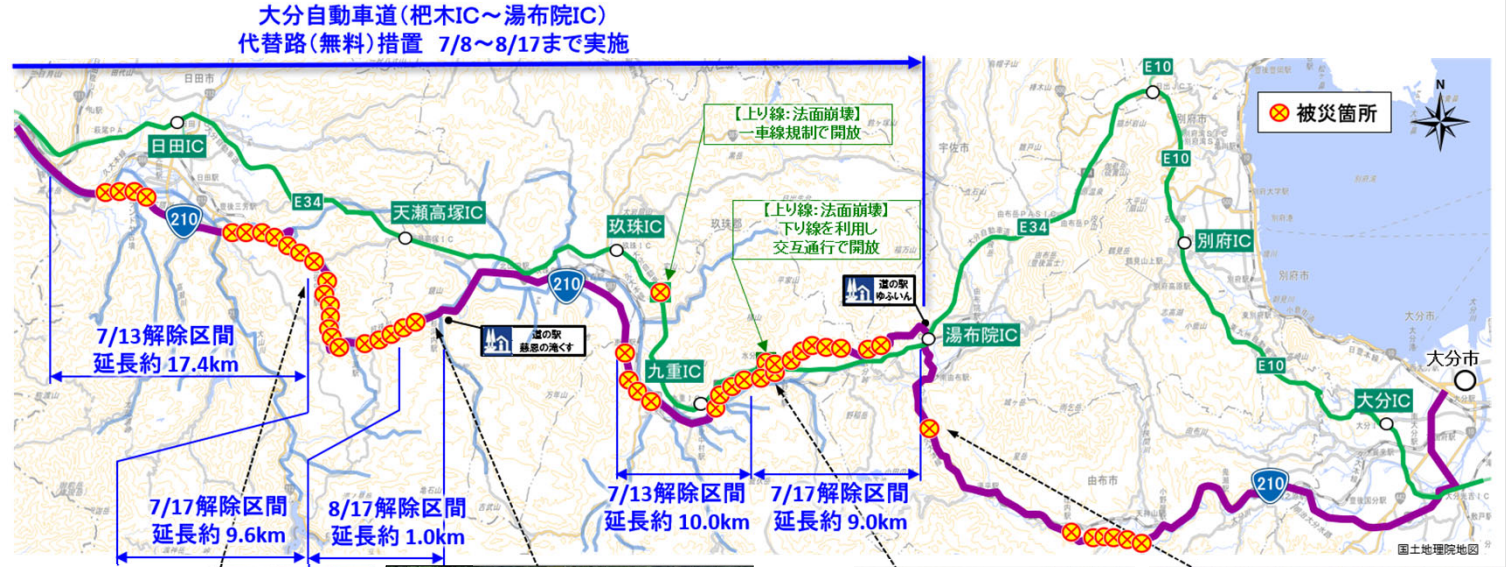
▲佐賀市川副町
北陸地方整備局による排水作業

豪雨により道路寸断



大分県日田市 国道210号でも57箇所で被害

・令和2年7月豪雨では、大分県日田地方の国道210号でも大きな被害を受けた。被災は57箇所にも及び、国道210号は複数地点において通行止めや片側交互通行などを実施。特に、日田市天瀬町赤岩地区では道路陥没が発生、続く豪雨により車道が崩壊。その後24時間体制での復旧工事により、8月17日に交通開放。















TEC-FORCE 被災地に集結



▲崩壊した道路の被災状況を調査
（四国地方整備局）

坂本町

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が全国各地から続々と集結

・TEC-FORCEが全国から集結し、約1ヶ月間で延べ6,932名、1日最大266名が被災地での活動を行った。熊本県及び12市町村の被災箇所1,713箇所（河川351箇所、道路1,266箇所、砂防96箇所）を調査。また被害調査の中で、球磨村や八代市の要望で孤立を含む集落へのアクセスルート調査も実施。調査結果は、各市町村に報告。被災状況の把握や災害申請の円滑化にも寄与した。



▲流木の中を進む隊員
（近畿地方整備局）

八代市



西瀬橋

▲被災橋梁の調査
（九州地方整備局）



球磨村

▲道路被災状況調査
（九州地方整備局）



芦北町

▲崩壊した道路の被災状況を調査
（北海道開発局）



▼球磨村長への孤立集落解消に向けた取組みの説明

地域に寄り添う

自治体に活動拠点設置及び現地支援班を派遣

・5県庁(熊本、大分、長崎、佐賀、福岡)及び九州管内21自治体(熊本14・大分2・長崎1・佐賀1・福岡2・宮崎1)にリエゾン(災害対策現地情報連絡員)を派遣し、被災状況等の情報収集を実施。また、熊本県及び12市町村での活動を円滑に行うため、現地に活動拠点を設置、現地支援班を派遣し自治体と連携を図り、TEC-FORCEの活動を効率的に実施。



▼球磨村職員への被災映像の提供



▲ 球磨村での現地支援活動



▲ 山江村にて支援物資の受け入れ



▲熊本県五木村での活動状況

最前線に緊急車両到着



▲24時間体制で排水作業を実施　人吉市

全国から様々な車両・機械・機材を投入し、被災現地で活動

・北陸・中部・近畿・中国・四国の各整備局より排水ポンプ車(21台)、照明車(13台)等が応援。
派遣された建設機械のオペレーションを計13班の応急対策班が九州各地で活動。
また、九州地整の災対ヘリ「はるかぜ号」で7月4日以降、6日間12フライトにより、球磨川、筑後川、大分川の各流域を上空調査を実施した。



▼災対ヘリ「はるかぜ号」による上空調査



▲ 集結した排水ポンプ車



▲照明車
人吉市

▼はるかぜ号映像





▲本部車会議状況



▲災害対策本部車　球磨村

建設業者による懸命な復旧作業



▲側溝清掃の状況　人吉市

昼夜を問わず災害復興に挑む

・災害時における迅速な被災状況の把握や的確な災害対応を図るため、建設会社及び建設コンサルタントとの協定により早急に契約を締結し、災害発生から被災地復旧のため過酷な災害現場の中で、昼夜を問わず復旧作業に取り組んだ。このように地域の建設業者は、地域の守り手としての重要な役割を担っている。



▼決壊箇所の緊急復旧（人吉市）


▼水路土砂撤去（人吉市）


▲国道219号道路復旧（球磨村）



▲川内川土砂撤去（球磨村）

大量の流木撤去



▲海煌による流木回収

わずか28日間で昨年1年間の12倍の回収を実施

・出水により大量の流木等が有明海・八代海に流出し、海上交通や漁業等へ大きな影響が懸念されたため、整備局で保有する海煌、海輝等により7月4日から7月31日までの28日間で15,883m³の漂流物を回収した。この量は有明海、八代海の昨年1年間の回収量の約12倍で、わずか1カ月弱で回収を実施した。



▼漂流ごみの陸揚げ状況

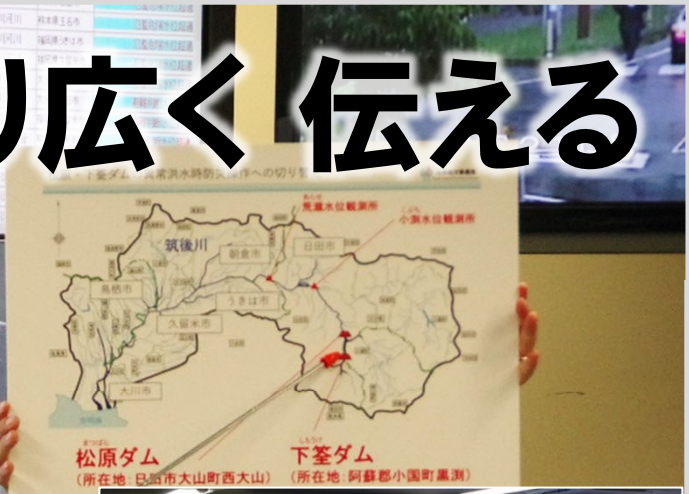

▼回収した漂流物


▼漁船が回収した漂流物を受取る海輝

より早くより広く伝える



▲合同記者会見状況




▲気象台とのオンライン配信

気象台と合同記者会見、SNSでの即時配信、YouTubeでの動画配信

・九州地方整備局と福岡管区気象台は、命を守る早期の行動につながる適時適切な情報の発信のため合計8回の合同記者会見を開催し、各テレビ局や新聞各社、ケーブルテレビ局などへの情報配信を行った。また、ホームページ、SNS（Facebook、Twitter）やYouTubeでの各種情報の配信も行った。特に通行止めなどの情報がわかる「通れるマップ」は多くの方にアクセスして頂いた。

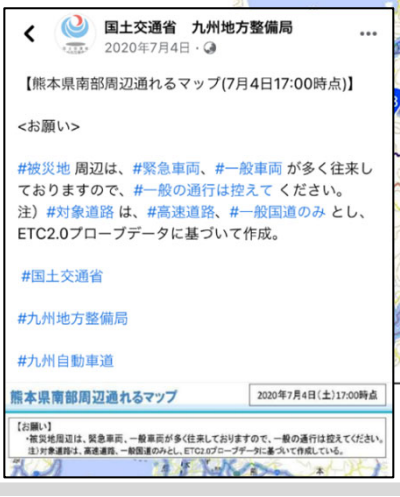
▼Youtubeでの動画配信状況





国土交通省 九州地方整備局





▲SNSでの配信状況

災害復旧工事を国が代行


▲西瀬橋 応急橋主桁架設状況

熊本県など自治体の緊急復旧工事を国が代行で着手

・熊本県が管理する9河川について、国が権限代行により緊急的な土砂・流木の撤去等を実施。また流失した橋梁10橋を含む国道219号や熊本県道等の約100kmの災害復旧事業を国が代行。9月1日に八代復興出張所を設置し被災地の復旧・復興を加速化。


▼川内川被災直後



▼西瀬橋被災（流失）直後


▼応急橋主桁架設完了



▼土砂撤去状況


▲6月4日 発災から2ヶ月で通行可能に


▼9月30日
9河川の緊急対策完了



▼八代復興出張所を設置

復旧・復興を加速



▲流出した橋梁の撤去状況（沖鶴橋）

復興事務所開所

被災地の復旧・復興体制の更なる強化を図る

・令和3年4月1日、「令和2年7月豪雨」による被災地の復旧・復興体制の更なる強化を図るために、熊本県八代市に八代復興事務所が新たに設置。
令和2年7月豪雨からの復旧・復興を加速し、強力に事業を推進します。



▲開所式典



▲銘板設置



▼仮橋供用（坂本橋）



▼護岸復旧状況（小川）

鋭意復旧に取り組んでいます。

橋梁の本格復旧に着手


被災後（坂本橋）


橋脚・橋台工事 R5. 3月


被災後（鎌瀬橋）


橋台工事 R5. 3月


被災後（大瀬橋）


橋脚・橋台工事 R5. 3月


被災後（松本橋）


橋脚・橋台工事 R5. 3月


被災後（沖鶴橋）


橋脚・橋台工事 R5. 3月

・令和4年度復旧橋梁10橋のうち6橋（坂本橋・鎌瀬橋・大瀬橋・松本橋・沖鶴橋・西瀬橋）の本格工事に着手。残る4橋（深水橋・神瀬橋・相良橋・天狗橋）についても令和5年度着手予定。
・地域間の交流・連携の再開に向け、早期完成を目指します。

被災直後の西瀬橋

仮橋による早期復旧・そして完成へ



（R2.7.5　TEC-FORCE調査）

仮橋による早期復旧



（R2.8.21　仮橋架設・夜間工事中）



（R2.9.4　交通解放）



（R2.9.4　仮橋による通学路確保）

被災から２年７か月で完成



（R5.2.19　完成）



（R5.2.19　渡り初め）



（R5.2.19　交通開放）

地域の足を守るため、段階的な整備

・「令和2年7月豪雨」から2か月で仮橋による交通開放。
・その後、本格復旧に着手し、被災から2年7か月で本復旧を完了し、完成を迎えた。

道路復旧で生活再建を支援




・R3.10 撮影


・R５.3 撮影　・球磨村伊高瀬地区

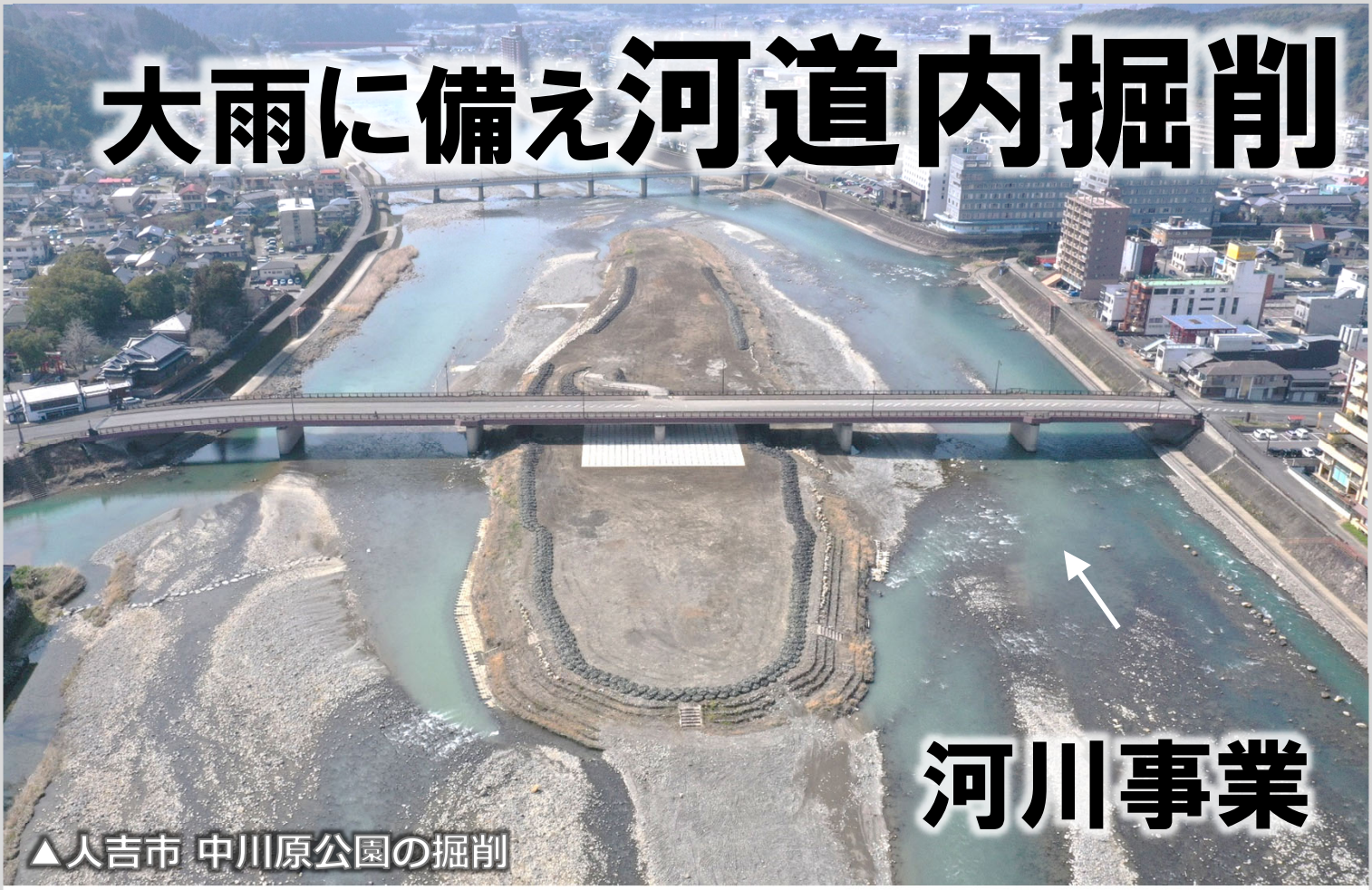
厳しい施工条件下でも一般交通を確保

・令和2年7月豪雨にて被災した球磨川沿道について、国が熊本県からの権限代行により復旧事業に取り組んでいます。作業場所が限られた難しい工事も多くありますが、地元の方々の生活に支障をきたさないよう工夫をしながら、1日も早い全線復旧を目指して、全力で工事を進めています。


・R4.3 撮影


・R5.2 撮影　・八代市坂本町荒瀬地区

大雨に備え河道内掘削



河川事業

▲人吉市 中川原公園の掘削

球磨川の河道内掘削、令和5年3月末現在約205万m3を撤去

・国管理区間では、堤防決壊2箇所、護岸等の被災29箇所の災害復旧工事を令和3年5月末までに完了。河道掘削については、令和5年3月末現在約205万m3の土砂を撤去
引き続き、河道掘削を推進していく。
・権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万m3の土砂掘削を完了。
護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所を令和5年3月に完了。



▼球磨川決壊箇所



▼川内川　被災後



▼本復旧完了



▼川内川　復旧工事後

九州地方整備局
Twitter

九州地方整備局
Twitter 採用情報

YouTube

国土交通省 九州地方整備局

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎
電話 092-471-6331（代表）

ホームページアドレス
https://www.qsr.mlit.go.jp/



“いのちと
くらしをまもる
防災減災”



令和５年５月発行